



2025 年 6 月 2 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 フ レ ア ス
代表者名 代表取締役社長 C E O 澤 登 拓
(コード番号：7062 東証グロース)
問合せ先 執行役員財務経理部長 関根真一郎
(Tel. 03-6632-9210)
<https://fureasu.jp/>

事業の一部の廃止に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、メディカルケア事業に含まれる医療対応型療養施設の全部及び看護小規模多機能型居宅介護施設の一部に係る事業を廃止することについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 事業廃止の理由

当社グループは、「人と人とのふれあいを大切に社会貢献すると共に、社員の物心の幸せを追求する」という会社理念のもと、「全国津々浦々に一人でも多くの方に速やかにフレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする」という経営ビジョンを掲げ、事業を通じて「超高齢化社会」における社会問題の解決に資する企業となることを目指しております。

現在のわが国は、2040 年に 65 歳以上人口のピークの到来が見込まれるなど高齢化が進展しており、医療・介護の複合ニーズが高まっております。また、厚生労働省が 2012 年に発出した「在宅医療・介護あんしん 2012」により、住み慣れた生活の場において必要な医療・介護サービスを受けられる体制を構築するという「在宅シフト政策」が推進されており、病院に変わる看取りの受け入れ先確保が喫緊の課題となっております。

そのような経営環境の中、当社グループはメディカルケア事業に含まれる医療対応型療養施設（ホスピス）事業を中心とした成長を基本戦略として事業運営を進めて参りましたが、利用者の獲得、人材の採用に遅れが生じるなど、事業環境が厳しい状況が続いております。また、医療対応型療養施設の新規開設に伴うリース資産の額の増加により、自己資本比率が減少したことで資金調達環境が悪化するなど、今後も厳しい事業環境が続くことが想定さ

れます。

このような状況を踏まえ、医療対応型療養施設の運営を継続することは困難であると判断し、メディカルケア事業に含まれる医療対応型療養施設の事業を廃止することを決定いたしました。なお、メディカルケア事業に含まれる看護小規模多機能施設の一部（フレアス看護小規模多機能水戸、フレアス看護小規模多機能越谷、フレアス看護小規模多機能上溝、フレアス看護小規模多機能新潟江南、SKYHEART看護小規模多機能宮野木、SKYHEART看護小規模多機能鶴の森の6施設）に係る事業については、引き続き事業を継続いたします。

2. 廃止する事業の内容

(1) 廃止する事業の内容

メディカルケア事業に含まれる医療対応型療養施設の全部及び看護小規模多機能型居宅介護施設の一部（フレアス看護小規模多機能水戸、フレアス看護小規模多機能越谷、フレアス看護小規模多機能上溝、フレアス看護小規模多機能新潟江南、SKYHEART看護小規模多機能宮野木、SKYHEART看護小規模多機能鶴の森の6施設以外の施設）

(2) 廃止する事業の経営成績

	メディカルケア事業	2025年3月期実績	比率
売上高	2,235百万円	7,582百万円	29.5%
営業利益	▲620百万円	▲105百万円	—
従業員数	573名	1,180名	48.6%

- (注) 1. 上表は、事業を継続する看護小規模多機能型居宅介護施設（6施設）も含まれております。
2. 従業員数には、パート・アルバイト社員も含んでおります。
3. メディカルケア事業の従業員については、事業の譲受先への転籍を前提としております。

(3) 廃止する事業の資産、負債の主な項目及び金額（2025年3月31日現在）

資産		負債	
項目	帳簿価額	項目	帳簿価額
リース資産	3,933百万円	リース負債	3,677百万円
のれん	225百万円	一年内リース債務	111百万円
建物附属設備	180百万円	賞与引当金	41百万円

(注) 上表は、事業を継続する看護小規模多機能型居宅介護施設（6施設）も含まれております。

3. 廃止の日程

2025 年 9 月 1 日

4. 今後の見通し

本件事業廃止に伴い、2026 年 3 月期の業績予想を修正する見込みではありますが、現在、譲渡する対象の詳細は交渉中であり、金額については精査中であるため、確定次第、速やかにお知らせいたします。また、今後の事業戦略については、2025 年 6 月下旬に開示予定の「事業計画及び成長可能性に関する資料」にて開示させていただきます。

以上